

札幌市介護保険事業計画推進委員会

第1回 事業者調査部会

説明資料

資料1	アンケート調査の実施概要	1
資料2	部会での協議事項について	4
資料3	介護保険サービス提供事業者調査項目（案）	
	項目一覧表	5
	訪問介護事業者調査	9
	訪問入浴介護事業者調査	11
	訪問看護事業者調査	13
	訪問リハビリテーション事業者調査	15
	通所介護・通所リハビリテーション・地域密着型通所介護事業者調査	17
	短期入所生活介護・短期入所療養介護事業者調査	19
	居宅介護支援事業者調査	21
	介護予防支援事業者調査	23
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査	25
	夜間対応型訪問介護事業者調査	27
	認知症対応型通所介護事業者調査	29
	小規模多機能型居宅介護事業者調査	31
	認知症対応型共同生活介護事業者調査	33
	看護小規模多機能型居宅介護事業者調査	35
	介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設調査	37
	介護老人保健施設調査	40
	介護医療院調査	43
	養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・ 有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業者）調査	46
資料4	介護保険サービス提供事業者調査項目（案）団体・法人のみ	49

アンケート調査の実施概要

令和 9 年 4 月を始期とする次期高齢者支援計画の策定及び各高齢者施策、介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とするため、各種調査を実施します。

調査項目については、今後、市民調査部会及び事業者調査部会で検討いただくこととしていますが、現時点においては、令和 4 年度の前回調査等を基にした調査概要を以下のとおり想定しているところです。

市民調査（国の調査+本市の調査）

1 高齢社会に関する意識調査

調査の目的	40 歳以上の方々の高齢社会に対する意識や高齢者福祉施策全般に関する考え方を把握・整理する。
調査対象	札幌市内在住の 40 歳以上の市民から、年代や居住区の構成比率に基づき無作為抽出の予定 (令和 4 年度調査：40～64 歳 1,500 人、65 歳以上 5,000 人)
想定される 主な調査項目 <small>年齢によって 一部項目が異なります</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的事項 (記入者、居住区、生活圏域、性別、年齢、現在の生活場所) ・ 世帯状況・住まい (家族構成、今後の生活場所の希望 等) ・ 毎日の生活 (外出頻度、移動手段、経済状況、買い物、食事、相談 等) ・ 地域での活動 (各種活動への参加頻度、参加意欲 等) ・ 心身の状況 (主観的健康感、り患中の疾病・後遺症、聞こえ 等) ・ 介護予防活動 (健康維持・介護予防の取組 等) ・ たすけあい (孤独の状況・身寄り・終活の有無 等) ・ 認知症に関すること (基本的な理解、相談先 等) ・ その他

	(保険料の負担感、サービス情報の入手先 等)
--	--------------------------

国調査との関係	65 歳以上の調査においては、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目との整合性を図る
---------	--

2 要介護（支援）認定者意向調査

調査の目的	要介護等認定者について、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握する。
調査対象	札幌市内在住の要介護等認定者の中から、要介護度別及び介護保険料の所得段階別、居住区別の構成比率に基づき無作為抽出の予定 (令和 4 年度調査：5,000 人)
想定される 主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的事項 (年齢、居住区、要介護度、介護が必要となった主な原因 等) ・ 介護保険との関わり (認定申請のきっかけ、インフォーマルサービスの利用 等) ・ 介護（予防）サービスの利用状況 (利用回数・日数、満足度、利用による生活の変化 等) ・ サービス未利用者の状況 (未利用の理由、今後の利用意向 等) ・ 今後の暮らし方・介護保険料 (今後の生活場所の希望、保険料負担のあり方 等) ・ 介護してくれる方の状況 (家族介護の頻度、負担・不安に感じる事、介護離職 等)
国調査との関係	国が示す「在宅介護実態調査」の調査項目との整合性を図る

事業者調査（本市の独自調査）

3 介護保険サービス提供事業者調査

調査の目的	介護保険サービス事業者におけるサービスの提供の現状、今後の見込み及び法人の運営状況やサービス提供上の課題等を把握する。
-------	---

調査対象	札幌市内で指定、届出のある介護保険サービス事業者及びその設置法人等（みなし指定を除く） （令和４年度調査：４,７９７か所）
------	--

<p>想定される 主な調査項目</p> <p>（上段：事業者あて）</p> <p>（下段：設置法人あて）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所 （経営形態、施設種別、併設事業所の提供サービス 等） ・サービスの提供状況等 （総提供回数・時間、入所者の入所前・退所後の状況 等） ・事業所の運営 （問題点、質の向上のための取組、災害対策 等） ・職員への対応 （採用・定着状況、職員数の過不足、介護助手の活用 スポットワークの活用 等） ・介護支援専門員の意見 （事業所の過不足、業務上の困難・不安）
	<ul style="list-style-type: none"> ・形態・サービスの提供状況等 （経営形態、提供内容・事業所数） ・事業所の運営 （収支状況、人材確保・定着化の取組 外国人材の採用 等） ・今後のサービス （増設・参入・削減予定のサービス、削減理由 等）

検討・実施予定時期

- ・令和７年８～９月頃 各部会で調査項目を検討、アンケート案を作成

	市民調査部会	事業者調査部会
第１回	令和７年８月２８日	令和７年９月２日
第２回	令和７年９月１６日	令和７年１０月１日

- ・令和７年１０月２２日 推進委員会でアンケート案を最終確認、総合調整
- ・令和７年１１月頃 アンケート発送、回収
- ・令和７年１２月頃～ 集計

結果報告等は、令和８年度の推進委員会で行う予定です。

部会での協議事項について

【 1 協議の対象となる事項】

(1) 第 1 回目部会

ア 市独自の項目について

設問の要否や質問文・選択肢の記載内容変更など。

記載内容を変更する場合は、できるだけ経年比較が難しくなるような大きな変更とならないようにご配慮をお願いいたします。

イ 国調査のオプション項目の要否（質問内容は原則変更不可） 市民調査のみ

(2) 第 2 回目部会

第 1 回目部会での協議内容を踏まえた事務局修正案の確認。

【 2 変更できない事項】

(1) 国調査で必須とされている項目 市民調査のみ

(2) インターネット調査で利用するシステムの仕様 事業者調査のみ

【 3 各種調査の回答率向上策】

第 3 回推進委員会でのご意見を踏まえ、以下のとおり検討しています。

高齢社会に関する意識調査	・市 HP、広報さっぽろ、広報部 X、市公式 LINE に掲載
要介護（支援）認定者 意向調査	・市 HP、広報さっぽろ、広報部 X、市公式 LINE に掲載 ・居宅介護支援事業所等に回答作成支援を依頼
介護保険サービス 提供事業者調査	・集団指導にて周知 ・回答の事前準備シートを併せて提供

【資料3】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問No.	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	<small>通所介護・通所リハビリテーション</small>	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症CH	看多機	特養/施設特養	老健	医療院	<small>養護・軽費・有料</small>			9期
1 事業所について																							
問1-1	事業所の経営形態	一部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	
	施設の経営形態	一部																○				○	
	施設の経営形態	一部																	○			○	
問1-2	施設の種別	単独																		○		○	
問1-2	事業所の所在地	一部	問1-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
問1-△	施設の所在地	一部															問1-1	問1-2	問1-2	問1-3		○	
問1-△	施設の形態	一部															問1-2					○	
		単独																問1-3				○	
問1-3	施設の運営形態	単独																	○			○	
問1-3	サービスの提供区	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○	
問1-4	提供しているサービスの種類	単独					○															○	
		単独						○														○	
問1-4	事業所の形態	単独									○											○	
問1-4	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	単独																		○		○	
問1-5	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	単独																		○		○	
問1-△	併設する介護保険サービス事業所の有無	一部	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-6	問1-5	問1-4		問1-5	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-3	問1-4		問1-6		○	
問1-△	併設する事業所が提供している介護保険サービス	一部	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-7	問1-6	問1-5		問1-6	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-4	問1-5		問1-7		○	
問1-△	併設する高齢者共同住宅の有無	一部	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-8	問1-7	問1-6		問1-7	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6						○	
2 サービスの提供状況等について																							
問2-1	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	一部	○	○	○	○					○	○										○	
問2-1-1	総提供回数	単独	○																			○	
問2-1-△		単独		問2-1																		○	
問2-1-△		一部			○	問2-1																○	
問2-1-△		単独									問2-1-1											○	
問2-1-△		単独										○										○	
問2-1-2	総提供時間（移動時間は除く）	単独	○		○																	○	
問2-1-2		単独			○																	○	
問2-△-△	最大提供回数	一部		問2-2		問2-2																○	
問2-△-△	延べ提供人数	単独									問2-1-2											○	
		単独										○										○	
問2-2	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	一部	○																			○	
問2-2-1	常勤職員によるサービスの平均提供回数	一部									○	○										○	
問2-2-2	常勤職員によるサービスの最大提供回数	一部									○	○										○	
問2-3	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	一部									○	○										○	
問2-1	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	一部					○						○									○	
問2-2	サービス利用者が通ってくる主な範囲	一部					○						○									○	
問2-3	現在のサービス提供メニュー	一部					○						○									○	
問2-1-1	ショートステイの事業形態	単独						○														○	

【資料3】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問No.	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載 9期
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	居宅介護支援 ※訪問介護・訪問看護・訪問リハの併設事業所	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/施設特養	老健	医療院	養護・軽費・有料			
問2-1-2	令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	単独						○														○	
問2-1-2	延べ利用日数（一時的活用）	単独						○														○	
問2-1-2	専用床を増やす予定の有無	単独						○														○	
問2-1-3	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						○														○	
問2-2-1	延べ利用日数（一時的活用）	単独						○														○	
問2-2	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						○														○	
問2-1	介護予防支援事業所の指定の有無	単独							○												新規	☆	
問2-2	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独							○													○	
問2-3	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	単独							○												新規	☆	
問2-1	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独								○												○	
問2-2	予防支援担当職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独								○												○	
問2-3	専門職員のケアプラン担当件数の上限や目安	単独								○												○	
問2-1	事業所（施設）の定員、入所者の状況	一部													○		○	○		○		○	
問2-1-1	定員	一部													○		○	○		○		○	
問2-1-2	ユニット数	一部													○		○	○				○	
問2-1-3	入所（入居）者数	一部													○		○	○		○		○	
問2-2	予定時間以外の対応	単独																		○		○	
問2-△	運営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設	一部																	問2-1			○	
問2-△	入所者の入所前の状況	一部															問2-1	問2-1	問2-2			○	
問2-△	入所者の退所後の状況	一部															問2-2	問2-2	問2-3			○	
問2-1	令和7年11月1日現在の登録者数	一部												○		○						○	
問2-2	訪問看護の利用者数	一部												○		○						○	
問2-3	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	一部												○								○	
問2-3	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	一部	○	○																		○	
問2-2	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	単独			○																	○	
問2-△	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	一部			問2-3				問2-4-1		問2-4				問2-1	問2-4	問2-3	問2-3		問2-1		○	
問2-4-2	直近1年間の看取り件数	単独							○													○	
問2-△	ターミナルケア（看取り）についての考え	一部			問2-4				問2-5		問2-5				問2-2	問2-5	問2-4	問2-4		問2-2		○	
問2-△	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	一部			問2-5				問2-6		問2-6				問2-3	問2-6	問2-5	問2-5		問2-3		○	○
3 事業所/施設/医療施設の運営について																							
問3-1-1	事業所運営に関する問題点	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問3-1-2	介護報酬が実態にそぐわない理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問3-1-3	地域・医療との連携が難しい理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問3-2	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	一部	○				○															○	
問3-2	介護予防サービスの問題点	一部		○	○	○		○	○	○			○	○	○					○		○	
問3-△	サービスの質の向上のためにやっている取組	全部	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-2	問3-2	問3-3		○	○
問3-△-1	サービス利用に関する苦情解決の方法	全部	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1		○	

【資料3】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問No.	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載 9期
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	訪問介護・訪問看護・訪問リハ併用	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/地密特養	老健	医療院	養護・軽費・有料			
問3-△-2	解決できない問題	全部	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2		○	
問3-△	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	一部						問3-5			問3-4			問3-5	問3-5	問3-4	問3-4	問3-4	問3-4	問3-5		○	
問3-△	夜間の人員体制についての自由記載	一部						問3-6			問3-5			問3-6	問3-6	問3-5	問3-5	問3-5	問3-5	問3-6		○	
問3-△	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	一部					問3-5	問3-7			問3-6	問3-4	問3-5	問3-7	問3-7	問3-6	問3-6	問3-6		問3-9		○	
問3-△-1	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	全部	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-7-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-8-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-6-1	問3-7-1		○	○
問3-△-2	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	全部	問3-5-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-7-2	問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-8-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-6-2	問3-7-2		○	
問3-△-△	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	全部	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-6-3	問3-8-3	問3-5-3	問3-5-6	問3-7-3	問3-5-3	問3-6-4	問3-8-4	問3-8-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-6-4	問3-7-4		○	
4 職員への対応について																							
問4-1-1	過去1年間の採用、定着状況	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-1-1-ア-A	採用状況、採用・退職者数	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
問4-1-1-ア-B		一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
問4-1-1-ア-A		単独								○												○	
問4-1-1-ア-B		単独								○												○	
問4-1-1-ア-C		単独								○												○	
問4-1-1-イ-A	職員の定着状況	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
問4-1-1-イ-B		一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
問4-1-1-イ-A		単独								○												○	
問4-1-1-イ-B		単独								○												○	
問4-1-1-イ-C		単独								○												○	
問4-1-1-ウ-A	（地域包括支援センターのみ） 平均在籍年数	単独								○												○	
問4-1-1-ウ-B		単独								○												○	
問4-1-1-ウ-C		単独								○												○	
問4-1-2	職員募集で効果があった方法	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-1-3-ア	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-1-3-ア-A	職員数	全部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	追加	○	
問4-1-3-ア-B	職員数（専門職員）	単独								○												○	
問4-1-3-ア-C	職員数（予防支援担当職員）	単独								○												○	
問4-1-3-イ	職員数（実人数）	全部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-1-3-ウ	職員数の過不足に対する考え	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	◎
問4-1-3-ウ-A	過不足	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
問4-1-3-ウ-B	過不足（専門職員）	単独								○												○	
問4-1-3-ウ-C	過不足（予防支援担当職員）	単独								○												○	
問4-2	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-3	職員に対して行っている配慮	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-4	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-5	職員の給与に対する考え	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-6	全職員を対象に実施している内部研修	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-7	外部研修などへの職員の参加	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-8	外部研修などへ参加させていない理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-9	職員に受けさせたい外部研修	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○

【資料3】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問No.	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	認知症対応型共同生活介護	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/施設特養	老健	医療院	養護・軽費・有料			9期
問4-10	介護助手の活用	一部					○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-11	介護助手の活用効果	一部					○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-12	介護助手を活用する予定	一部					○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-13	介護助手を活用しない理由	一部					○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-△	スポットワークの活用	全部	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	新規	☆	
問4-△	スポットワークの活用理由	全部	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	新規	☆	
問4-△	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	全部	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-16	問4-16	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	新規	☆	
問4-△	スポットワーク導入の課題	全部	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-17	問4-17	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	新規	☆	
問4-△	今後のスポットワークの活用	全部	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-18	問4-18	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について																							
問5-△	現状における事業所の過不足に対する考え	一部							問5-1	問5-1							問5	問5	問5			○	
問5-△	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	一部							問5-2	問5-2				問5		問5					認知症関連 項目追加	○	◎
△ 自由記載																							
問△	介護保険制度全般への要望・意見	全部	問5	問5	問5	問5	問5	問5	問6	問6	問5	問5	問5	問6	問5	問6	問6	問6	問6	問5		○	

①R7訪問介護事業者調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月に提供したメニューを選択し、その総提供回数および総提供時間をそれぞれ入力してください	記述			○	
問2-1-1	単独	総提供回数			訪問介護（身体介護（ 回） 生活援助（ 回） 通院等乗降介助（ 回）） 訪問型サービス（総合事業）（ 回）		○	
問2-1-2	単独	総提供時間（移動時間は除く）			訪問介護（身体介護（ 時間） 生活援助（ 時間） 通院等乗降介助（ 時間）） 訪問型サービス（総合事業）（ 時間）		○	
問2-2	一部	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	令和7年10月の1か月における、常勤職員の訪問介護サービスの提供時間（移動時間は除く）は、利用者1人あたり1日の平均・最大でそれぞれ何時間ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供時間」（ 時間） 利用者1人あたり1日の「最大提供時間」（ 時間） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	玄関前の除雪 簡単な大工仕事 庭の手入れ 年末年始の大掃除 家の中や敷地内のごみの整理や片付け 仏花の購入や仏壇の手入れ 映画鑑賞やお墓参りなどの付き添い 院内介助・通院介助 窓拭き 利用者の家族など利用者以外の方への生活援助 その他（具体的に ） 特にない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）冬期間は雪による渋滞、除雪等により時間がかかる人件費を、事業者負担でヘルパーに支給している実態がある		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにに行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一			○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	

9

①R7訪問介護事業者調査

☐ R4から継続

☒ 新規

☐ 現状分析

☒ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

②R7訪問入浴介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等					○	
問2-1-1	単独		令和7年10月の1か月あたりの訪問入浴介護サービスの総提供回数は何回ですか	記述	（ 回）		○	
問2-1-2	一部		職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問入浴介護サービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）エレベーターのないアパートに住んでいる方も多く、移動に時間がかかる		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
	全部		非常勤職員	単一			○	

②R7訪問入浴介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください→計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

③R7訪問看護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの訪問看護サービスの総提供回数および総提供時間をそれぞれ入力してください				○	
問2-1-1	一部	総提供回数		記述	医療保険適用（ 回） 介護保険適用（ 回）（介護予防サービスを含む）		○	
問2-1-2	単独	総提供時間		記述	医療保険適用（ 時間） 介護保険適用（ 時間）（介護予防サービスを含む）		○	
問2-2	一部	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	死後の処理 同居家族の看護 通院の同行 外泊時のケア その他（具体的に ） 特にない		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）30分未満471単位であるが、実際のケアに要する時間のほか、連携や書類作成にも時間がかかっている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行ってない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	

13

③R7訪問看護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

14

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス 時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2	一部	令和7年10月の1か月あたりの総提供回数					○	
問2-1	一部	総提供回数	令和7年10月の1か月あたりの訪問リハビリテーションサービスの総提供回数は何回ですか	記述	医療保険適用（ 回） 介護保険適用（ 回）		○	
問2-2	一部	最大提供回数	職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問リハビリテーションサービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）リハビリテーションスタッフの給与と介護報酬が見合わない		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにに行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員		採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員				○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答形式	選択肢	見直し内容	可否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください	単一	通所介護 通所リハビリテーション 地域密着型通所介護		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（ 人） 利用定員（ 人） 営業日数（ 日）		○	
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多いものを教えてください	単一	徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容（レクリエーション・体操など） ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック（体温・血圧測定など） 生活相談 その他（具体的に ）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）通所介護の送迎において、重度の方に対しての負担が大きいが、それに見合った報酬ではない		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-6-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答形式	選択肢	見直し内容	可否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他（具体的に） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

18

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください	単一	短期入所生活介護 短期入所療養介護		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1-1	単独	ショートステイの事業形態	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 ショートステイの事業形態について教えてください 「1.専用床型」を選択された場合は、そのベッド数を具体的に入力してください	単一	専用床型（ベッド数 床） 空床利用型		○	
問2-1-2		令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和7年8月～10月の3か月間に利用があったものを選択し、その延べ利用日数をそれぞれ入力してください		ショートステイ（ 日） ショートステイ専用床を、特別養護老人ホーム床として一時的に活用（日）		○	
問2-1-3		延べ利用日数（一時的活用）	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和7年8月～10月の3か月間のショートステイ専用床を特別養護老人ホーム床として一時的に活用している分の延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）				○	
問2-1-4	単独	専用床を増やす予定の有無	【問2-1-1で「専用床型」の方のみ】 今後、令和8年度までにショートステイ専用床を増やす予定はありますか 【増やす予定がある場合】その増床数を具体的に入力してください	単一	増やす予定がある（ 床増加） 増やす予定はない		○	
問2-1-5	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問2-1-1で「空床利用型」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向はある 意向はない		○	
問2-2-1		令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 令和7年8月～10月の3か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）		（ 日）		○	
問2-2-2	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向がある 意向はない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）重度の認知症、嚥下障害の方が多く、職員人数は基準以上に配慮する必要がある		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-8-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述			○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気よかった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ】 どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ】 スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ】 スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑦R7居宅介護支援事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上）ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	介護予防支援事業所の指定の有無	貴事業所は、介護予防支援事業所の指定を受けていますか	単一	指定を受けている 指定を受けていない	新規	☆	
問2-2	単独	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に作成したものを選択し、介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数をそれぞれ入力してください	記述	要介護1・2の方を対象としたケアプラン（ 件） 要介護3～5の方を対象としたケアプラン（ 件） （※ 小数点第2以下は四捨五入してください）		○	
問2-3	単独	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	【問2-1で「指定を受けている」のみ】令和7年10月の1か月間にケアプランを作成している要支援1・2の利用者数の合計を教えてください（地域包括支援センターからの再委託を除く）	単一	（ 人）	新規	☆	
問2-4-1	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-4-2	単独	直近1年間の看取り件数	【問2-2-1で「ある」の方のみ】直近1年間で何件ありましたか	記述	（ 件）		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）介護報酬が一律であるが、現状が安定した利用者には高く、逆に不安定で頻繁に連絡・訪問する場合には見合った報酬になっていない		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者には説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力的体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力的体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力的体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部	採用状況、採用・退職者数	非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部	職員の定着状況	非常勤職員	単一			○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎

21

⑦R7居宅介護支援事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか		※表形式		○	
問5-1-1	一部		訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-2	一部		訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-3	一部		訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-4	一部		訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-5	一部		居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-6	一部		通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-7	一部		通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-8	一部		短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-9	一部		短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-10	一部		特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-11	一部		福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-12	一部		特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-13	一部		介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-14	一部		介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-15	一部		介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-16	一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-17	一部		夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-18	一部		地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-19	一部		認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-20	一部		小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-21	一部		認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-22	一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-23	一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-24	一部		看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-25	一部		居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-26	一部		訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-27	一部		通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-28	一部		通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められるサービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正々に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	認知症関連項目追加		
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

22

⑧R7地域包括支援センター

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に専門職員が作成したものを選択し、その平均作成件数（直営分）のみをそれぞれ入力してください	記述	要支援1の方を対象としたケアプラン（ 件） 要支援2の方を対象としたケアプラン（ 件） 事業対象者の方を対象としたケアプラン（ 件） （※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』で常勤換算のうえ算出してください） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2	単独	予防支援担当者職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に予防支援担当職員（プランナー）が作成したものを選択し、その平均作成件数（直営分）のみをそれぞれ入力してください	記述	要支援1の方を対象としたケアプラン（ 件） 要支援2の方を対象としたケアプラン（ 件） 事業対象者の方を対象としたケアプラン（ 件） （※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』で常勤換算のうえ算出してください） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）要支援であっても、頻繁な訪問やプラン変更を要する利用者もいるため、介護報酬に見合わない場合がある		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対応 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生への備えとして既に取り組んでいること	災害発生への備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況および平均在籍年数をそれぞれ教えてください				○	
問4-1-1-ア-A	単独	採用状況、採用・退職人数	専門職員	記述	（各職種それぞれについて）		○	
問4-1-1-ア-B	単独		予防支援担当職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	
問4-1-1-ア-C	単独		事務職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	
問4-1-1-イ-A	単独	職員の定着状況	専門職員	単一	（各職種それぞれについて）		○	
問4-1-1-イ-B	単独		予防支援担当職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	
問4-1-1-イ-C	単独		事務職員	単一			○	
問4-1-1-ウ-A	単独	平均在籍年数	専門職員	記述	（各職種それぞれについて）		○	
問4-1-1-ウ-B	単独		予防支援担当職員		平均在籍年数（ 年）		○	
問4-1-1-ウ-C	単独		事務職員				○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア		介護サービスを提供する職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』で算出してください →計算シートの添付検討				○	
問4-1-3-ア-A	全部	職員数		記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ア-B	単独	職員数（専門職）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。	記述	職員数（専門職・常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）		○	
問4-1-3-ア-C	単独	職員数（予防支援担当職員）		記述	職員数（予防支援担当職員・常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）		○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）		☆	
問4-1-3-ウ		職員数の過不足に対する考え					○	◎
問4-1-3-ウ-A	単独	過不足（専門職）	現状の職員数をどのように考えますか。		現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	
問4-1-3-ウ-B	単独	過不足（予防支援担当職員）	※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由				○	
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えられていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○

23

⑧R7地域包括支援センター

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をととして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式		○	
問5-1-1	一部		訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-2	一部		訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-3	一部		訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-4	一部		訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-5	一部		居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-6	一部		通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-7	一部		通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-8	一部		短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-9	一部		短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-10	一部		特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-11	一部		福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-12	一部		特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-13	一部		介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-14	一部		介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-15	一部		介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-16	一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-17	一部		夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-18	一部		地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-19	一部		認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-20	一部		小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-21	一部		認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-22	一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-23	一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-24	一部		看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-25	一部		居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-26	一部		訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-27	一部		通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-28	一部		通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること		複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正當に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	認知症関連追加	○	
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

24

⑨R7定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	事業所の形態について教えてください	事業所の形態について教えてください	単一	一体型 連携型		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの総提供回数および延べ提供人数を教えてください				○	
問2-1-1	単独	総提供回数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの総提供回数（ 回） 「随時訪問」による「訪問介護」サービスの総提供回数（ 回） 「定期巡回」による「訪問看護」サービスの総提供回数（ 回） 「随時訪問」による「訪問看護」サービスの総提供回数（ 回）		○	
問2-1-2	単独	延べ提供人数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「随時訪問」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「定期巡回」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「随時訪問」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数（ 人）		○	
問2-2-1	一部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	令和7年10月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間（ 分） 最短移動時間（ 分） 平均移動時間（ 分） 最長サービス提供時間（ 分） 最短サービス提供時間（ 分） 平均サービス提供時間（ 分） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）定額報酬で日常生活を支える支援をすべてまかなうことは困難。設備・人件費・移動などのコストに見合わない		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-7-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ ）人 退職者数（ ）人		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ ）名 うち29歳以下（ ）名 30～39歳（ ）名 40～49歳（ ）名 50～59歳（ ）名 60歳以上（ ）名	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ ）名 非常勤職員（ ）名	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ ）名 必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10で「活用したことがある」の方のみ】どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10で「活用したことがある」の方のみ】スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ ）回	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ】スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください”	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメン ト） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看 護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共 同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介 護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事 業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの夜間対応型訪問介護サービスの総提供回数および延べ提供人数を教えてください	記述			○	
問2-1-1	単独	総提供回数			定期巡回（ 回） 随時訪問（ 回）		○	
問2-1-2	単独	延べ提供人数			定期巡回（ 人） 随時訪問（ 人）		○	
問2-2-1	一部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	令和7年10月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間（ 分） 最短移動時間（ 分） 平均移動時間（ 分） 最長サービス提供時間（ 分） 最短サービス提供時間（ 分） 平均サービス提供時間（ 分） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介 護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員な ど）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他 （具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）常時コール対応できる体制をとる必要があり、スタッフの配置が現状の報酬では困難		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医 療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的 な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決してい る 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない 場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊 り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活 動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行 い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設け ている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継 続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間 における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の 役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述			○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部		職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-12	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

28

⑪R7認知症対応型通所介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（ 人） 利用定員（ 人） 営業日数（ 日）		○	
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多いものを教えてください		徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容（レクリエーション・体操など） ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック（体温・血圧測定など） 生活相談 その他（具体的に ）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）認知症を有しているため、準備などを職員が行う場合や、再度送迎が必要なことがあり、数多くの職員を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	一部	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	

①R7認知症対応型通所介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるものの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	一部	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気よかった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	一部	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気よかった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	予定がある 予定がない	一部	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	一部	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑫R7小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

9期計画

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月1日現在の登録者数	令和7年10月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援1・2を含む）	記述	登録者数（ 名） うち併設する高齢者共同住宅の利用者数（ 名）		○	
問2-2	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援1・2を含む）	記述	訪問看護の利用者数（ 名） うち併設する高齢者共同住宅の利用者数（ 名）		○	
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	令和7年10月の1か月間の延べ利用回数は何回ですか。通い、泊り、訪問介護のそれぞれについて教えてください（介護予防サービスを含む）	記述	「通い」の延べ利用回数（ 回） 「泊り」の延べ利用回数（ 回） 「訪問介護」の延べ利用回数（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式			
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	

31

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1		事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年10月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）				○	
問2-1-1		定員	定員		全体（ 人）		○	
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）		○	
			要支援2		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護1		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護2		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護3		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護4		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護5		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
問2-2	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）認知症を有しているため、準備などを職員が行う場合や、再度送迎が必要なことがあり、数多くの職員を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行ってない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行ってない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式			
問4-1-1-ア-A		採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述			○	○
問4-1-1-イ-A		職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	一部	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	一部	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	予定がある 予定がない	一部	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	一部	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがあります 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

34

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1		事業所について						
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください”	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2		サービスの提供状況等について						
問2-1	一部	令和7年11月1日現在の登録者数	令和7年11月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	登録者数（ 名） うち併設住宅利用者（ 名）		○	
問2-2	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	訪問看護利用者数（ 名） うち併設住宅利用者数（ 名）		○	
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	令和7年10月の1か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護、訪問看護のそれぞれについて教えてください	記述	通い（ 日） 泊り（ 日） 訪問介護（ 日） 訪問看護（ 日）		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3		事業所の運営について						
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4		職員への対応について						
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○

35

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.

対象

設問趣旨

設問内容

回答形式

選択肢

見直し内容

要否

9期計画

問4-1-2

全部

職員募集で効果があった方法

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）

複数

ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）

○

問4-1-3-ア

全部

介護サービスを提供する職員数（常勤換算）

介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください
※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）で算出してください →計算シートの添付検討

記述

職員数（常勤換算）（ 名）
うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）

年代別を追加

○

問4-1-3-イ

全部

職員数（実人数）

介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか

記述

常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）

☆

問4-1-3-ウ

全部

職員数の過不足に対する考え

現状の職員数をどのように考えますか。
※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由

単一

現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）

○

◎

問4-2

全部

過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの

過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）

複数

給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に）
過去1年以内の退職はなかった

○

○

問4-3

全部

職員に対して行っている配慮

職員に対して、どのような配慮を行っていますか

複数

基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない

○

問4-4

全部

職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）

貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか

複数

1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）

○

問4-5

全部

職員の給与に対する考え

職員の給与についてどのようにお考えですか

単一

職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない

○

問4-6

全部

全職員を対象に実施している内部研修

全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか

複数

介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない

○

○

問4-7

全部

外部研修などへの職員の参加

外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか

単一

している していない

○

○

問4-8

全部

外部研修などへ参加させていない理由

【問4-7で「していない」の方のみ】
外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか

複数

時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）

○

○

問4-9

全部

職員に受けさせたい外部研修

職員に受けさせたい外部研修は何ですか

複数

介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）

○

○

問4-10

一部

介護助手の活用

現在、介護助手（※）を活用していますか
※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます

一部

活用している 活用していない 介護助手が何か知らない

新規

☆

問4-11

一部

介護助手の活用効果

職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他（具体的に） あまり効果は感じられない

一部

職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他（具体的に） あまり効果は感じられない

新規

☆

問4-12

一部

介護助手を活用する予定

予定がある 予定がない

一部

予定がある 予定がない

新規

☆

問4-13

一部

介護助手を活用しない理由

予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に）

一部

予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に）

新規

☆

問4-14

全部

スポットワークの活用

いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか
※ スポットワークとは、アプリ等をおとして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます

単一

活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない

新規

☆

問4-15

全部

スポットワークの活用理由

【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ
どのような理由でスポットワークを活用しましたか

複数

既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）

新規

☆

問4-16

全部

スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力

【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ
スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか

新規

☆

問4-16-1

全部

雇用回数

記述

雇用回数（ 回）

新規

☆

問4-16-2

全部

従事内容

複数

入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）

新規

☆

問4-16-3

全部

能力

単一

非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満

新規

☆

問4-17

全部

スポットワーク導入の課題

【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ
スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか

複数

信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）

新規

☆

問4-18

全部

今後のスポットワークの活用

今後、スポットワークを活用したいと思いますか

単一

ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない

新規

☆

5 介護支援専門員の意見について

問5

一部

業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること

業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか

複数

アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他（具体的に） 特にない

認知症関連追加

○

◎

6 自由記載

問6

全部

介護保険制度全般への要望・意見

介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください

記述

○

36

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-2	一部	施設の形態	施設の形態について教えてください	単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型 地域密着型		○	
問1-3	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-4	一部	併設する事業所提供している介護保険サービス	【問1-3 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1		事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）				○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（ 人）		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）		○	
	一部		要介護1		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		要介護2		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		要介護3		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		要介護4		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		要介護5		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		その他（経過措置を含む）		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
問2-2		入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式			
問2-2-1	一部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-2	一部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-3	一部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-4	一部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-5	一部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-6	一部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-7	一部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-8	一部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-9	一部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-10	一部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-2-11	一部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3		入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-2	一部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-3	一部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-4	一部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-5	一部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-6	一部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-7	一部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-8	一部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-9	一部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-10	一部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-11	一部		死亡	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	
問2-3-12	一部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）		○	○
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）基準に定められている職員数（看護・介護）では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-7-2	一部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員				○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員				○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）		☆	
問4-1-3-イ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	一部	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気よかった その他（具体的に） あまり効果は感じられない	一部	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他（具体的に） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	予定がある 予定がない	一部	予定がある 予定がない	新規	☆	

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	一部	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式		○	
問5-1-1	一部		訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-2	一部		訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-3	一部		訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-4	一部		訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-5	一部		居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-6	一部		通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-7	一部		通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-8	一部		短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-9	一部		短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-10	一部		特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-11	一部		福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-12	一部		特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-13	一部		介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-14	一部		介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-15	一部		介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-16	一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-17	一部		夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-18	一部		地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-19	一部		認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-20	一部		小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-21	一部		認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-22	一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-23	一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-24	一部		看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-25	一部		居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-26	一部		訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-27	一部		通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-28	一部		通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑩R7介護老人保健施設調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

→9期計画

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	施設の形態	施設の形態について教えてください	単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業）通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（ 人）			
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）			
	一部		要支援1		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
	一部		要介護2		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
	一部		要介護3		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
	一部		要介護4		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
	一部		要介護5		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
	一部		その他（経過措置を含む）		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
問2-2		入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式		○	
問2-2-1	一部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-2	一部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-3	一部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-4	一部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-5	一部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-6	一部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-7	一部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-8	一部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-9	一部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-10	一部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-11	一部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3		入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式		○	
問2-3-1	全部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-2	全部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-3	全部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-4	全部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-5	全部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-6	全部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-7	全部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-8	全部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-9	全部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-10	全部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-11	全部		死亡	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-12	全部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）基準に定められている職員数（看護・介護）では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○

⑩R7介護老人保健施設調査

○ R4から継続

☆ 新規

○ 現状分析

◎ 指標・現状分析

設問No.

対象

設問趣旨

設問内容

回答形式

選択肢

見直し内容

要否

9期計画

問3-3-1

全部

サービス利用に関する苦情解決の方法

サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか

複数

事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）

○

問3-3-2

全部

解決できない問題

【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください

記述

○

問3-4

一部

夜間勤務体制（夜勤職員の配置）

夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください

単一

基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置

○

問3-5

一部

夜間の人員体制についての自由記載

ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください

記述

○

問3-6

一部

利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動

利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか

複数

行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない

○

問3-7-1

全部

災害発生の備えとして既に取り組んでいること

災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか

複数

災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）

○

○

問3-7-2

全部

災害発生時に備えた今後の地域との協力体制

【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか

単一

現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない

○

問3-7-4

全部

災害発生時における対策のうち一番難しいもの

災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか

単一

避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）

○

4 職員への対応について

問4-1-1

過去1年間の採用、定着状況

過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください

記述

※表形式

問4-1-1-ア-A

全部

採用状況、採用・退職者数

常勤職員

記述

（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない

○

○

問4-1-1-ア-B

全部

非常勤職員

記述

採用人数（ ） 退職者数（ ）

○

○

問4-1-1-イ-A

全部

職員の定着状況

常勤職員

単一

○

○

問4-1-1-イ-B

全部

非常勤職員

単一

良い 比較的良好い あまり良くない 良くない

○

○

問4-1-2

全部

職員募集で効果があった方法

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）

複数

ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）

○

問4-1-3-ア

全部

介護サービスを提供する職員数（常勤換算）

介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください
※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討

記述

職員数（常勤換算）（ ） 名）
うち29歳以下（ ） 名） 30～39歳（ ） 名） 40～49歳（ ） 名） 50～59歳（ ） 名） 60歳以上（ ） 名）

年代別を追加

○

問4-1-3-イ

全部

職員数（実人数）

介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか

記述

常勤職員（ ） 名） 非常勤職員（ ） 名）

新規

☆

問4-1-3-ウ

全部

職員数の過不足に対する考え

現状の職員数をどのように考えますか。
※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由

単一

現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ ） 名）必要⇒理由（ ）

○

◎

問4-2

全部

過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの

過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）

複数

給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった

○

○

問4-3

全部

職員に対して行っている配慮

職員に対して、どのような配慮を行っていますか

複数

基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない

○

問4-4

全部

職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）

貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか

複数

1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）

○

問4-5

全部

職員の給与に対する考え

職員の給与についてどのようにお考えですか

単一

職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない

○

問4-6

全部

全職員を対象に実施している内部研修

全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか

複数

介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない

○

○

問4-7

全部

外部研修などへの職員の参加

外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか

単一

している していない

○

○

問4-8

全部

外部研修などへ参加させていない理由

【問4-7で「していない」の方のみ】外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか

複数

時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）

○

○

問4-9

全部

職員に受けさせたい外部研修

職員に受けさせたい外部研修は何ですか

複数

介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）

○

○

問4-10

一部

介護助手の活用

現在、介護助手（※）を活用していますか
※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます

単一

活用している 活用していない 介護助手が何か知らない

新規

☆

問4-11

一部

介護助手の活用効果

【問4-10で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください

複数

職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない

新規

☆

問4-12

一部

介護助手を活用する予定

【問4-10で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか

単一

予定がある 予定がない

新規

☆

問4-13

一部

介護助手を活用しない理由

【問4-12で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください

複数

予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）

新規

☆

問4-14

全部

スポットワークの活用

いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか
※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます

単一

活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない

新規

☆

41

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について ※ 意見集約をお願いします ※								
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式		○	
問5-1	一部		訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2	一部		訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-3	一部		訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-4	一部		訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-5	一部		居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-6	一部		通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-7	一部		通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-8	一部		短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-9	一部		短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-10	一部		特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-11	一部		福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-12	一部		特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-13	一部		介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-14	一部		介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-16	一部		介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-17	一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-18	一部		夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-19	一部		地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-20	一部		認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-21	一部		小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-22	一部		認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-23	一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-24	一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-25	一部		看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-26	一部		居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-27	一部		訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-28	一部		通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-29	一部		通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑰R7介護医療院調査

					○ R4から継続 ☆ 新規	○ 現状分析 ◎ 指標・現状分析		
設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 財団法人 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	単独	施設の運営形態	該当する形態を選択し、その病床数を入力してください	記述	I型（ 床） II型（ 床）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	運営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 病院 診療所 介護医療院 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） その他（具体的に ） 関連施設はない		○	
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-2	一部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-3	一部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-4	一部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-5	一部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-6	一部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-7	一部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-8	一部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-9	一部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-10	一部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-11	一部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3		入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部		居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-2	一部		ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-3	一部		有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-4	一部		養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-5	一部		認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-6	一部		サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-7	一部		介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-8	一部		介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-10	一部		病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-11	一部		介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-12	一部		死亡	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-13	一部		その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）安全対策・感染対策・防災対策などの一定の基準を求められ、ハード・ソフトとも経費がかかってしまう		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-6-4	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください	記述	※表形式			
問4-1-1-ア-A		採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○	
問4-1-1-イ-A		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○	
問4-1-1-イ-B		非常勤職員	単一			○		

⑰R7介護医療院調査

						○ R4から継続 ☆ 新規	○ 現状分析 ◎ 指標・現状分析	
設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間』で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他（具体的に） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5		現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式		○	
問5-1	一部		訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-10			一部		特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない	

⑰R7介護医療院調査

Q07介護医療院調査										○ R4から継続 ☆ 新規		○ 現状分析 ◎ 指標・現状分析	
設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢					見直し内容	要否	9期計画	
問5-11	一部		福祉用具貸与	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-12	一部		特定福祉用具販売	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-13	一部		介護老人福祉施設	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-14	一部		介護老人保健施設	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-15	一部		介護医療院	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-16	一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-17	一部		夜間対応型訪問介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-18	一部		地域密着型通所介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-19	一部		認知症対応型通所介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-20	一部		小規模多機能型居宅介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-21	一部		認知症対応型共同生活介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-22	一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-23	一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-24	一部		看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-25	一部		居宅介護支援	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-26	一部		訪問型サービス（総合事業）	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-27	一部		通所型サービス（総合事業）	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
問5-28	一部		通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない				
6 自由記載													
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述							○		

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

○ R4から継続
☆ 新規

○ 現状分析
◎ 指標・現状分析

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	単独	施設の種別	施設の種別について教えてください	単一	養護老人ホーム 軽費老人ホーム（A型・B型） ケアハウス 有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）		○	
問1-3	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	介護保険法における「特定施設入居者生活介護」の事業所指定の状況について教えてください	単一	指定を受けている 指定は受けていない		○	
問1-5	単独	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	【問1-4で「指定は受けていない」の方のみ】 現在の施設を特定施設入居者生活介護へ転換したい意向はありますか ※現在は公募による新設の場合のみを認めています	単一	ある ない		○	
問1-6	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-7	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1		事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（ 人）		○	
問2-1-2	一部		自立		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
	一部		要支援 1		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要支援 2		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要介護 1		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要介護 2		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要介護 3		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要介護 4		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	一部		要介護 5		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名） 【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
問2-2		予定時間以外の対応	【問2-1-2の「外部サービス利用者数」のうち訪問介護の利用がある方のみ】 予定時間以外の対応をどのようにされていますか		予定時間以外の対応を必要とする方はほとんどいない 住宅のサービスとして提供している（提供メニュー： ） その他（具体的に ）		○	
問2-1	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-2	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 施設の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

◎R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査					○ R4から継続 ☆ 新規	○ 現状分析 ◎ 指標・現状分析		
設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由や状況を以下の記載例を参考にして、具体的に入力してください	記述	（記載例）施設内で積極的にADL向上・リハビリテーション・レクリエーションや行事企画などに取り組み、要介護度が軽くなっても施設の評価につながらない		○	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		○	○
問4-1-1-ア-B	全部		非常勤職員	記述	採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B	全部		非常勤職員	単一			○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、『非常勤職員の週あたり述べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）で算出してください →計算シートの添付検討	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへ参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、介護の専門資格を必要とせず、清掃や配膳、話し相手など、介護職員の業務をサポートする役割を担う職員をいいます	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気になった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をととして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16	全部	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

【資料 4】 R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46問)

○ R4から継続して必要
☆ 新規

○ 現状分析
○ 指標・現状分析

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載9期
1 設置法人・団体の形態について							
問1	設置法人・団体の経営形態	設置法人・団体の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NP0法人 合名会社 合資会社 その他		○	
2 サービスの提供状況等について							
問2	札幌市内で運営（提供）している介護保険サービス	該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその事業所数をそれぞれ入力してください	複数	訪問介護（ か所） 訪問入浴介護（ か所） 訪問看護（ か所） 訪問リハビリテーション（ か所） 居宅療養管理指導（ か所） 通所介護（ か所） 通所リハビリテーション（ か所） 短期入所生活介護（ か所） 短期入所療養介護（ か所） 特定施設入居者生活介護（ か所） 福祉用具貸与（ か所） 特定福祉用具販売（ か所） 居宅介護支援（ か所） 介護予防支援（ か所） 介護老人福祉施設（ か所） 介護老人保健施設（ か所） 介護医療院（ か所） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（ か所） 夜間対応型訪問介護（ か所） 地域密着型通所介護（ か所） 認知症対応型通所介護（ か所） 小規模多機能型居宅介護（ か所） 認知症対応型共同生活介護（ か所） 地域密着型特定施設入居者生活介護（ か所） 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護（ か所） 看護小規模多機能型居宅介護（ か所） 訪問型サービス（総合事業）（ か所） 通所型サービス（総合事業）（ か所） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）（ か所）	選択肢修正（療養型を削除、文言を修正）	○	
3 事業の収支状況について							
問3-1	介護保険サービス事業の収支状況（令和6年度実績）	介護保険サービス事業の令和6年度実績における収支はどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください	単一			○	
問3-1-A		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-17		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-19		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-20		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-21		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-22		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-23		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-27		訪問型サービス（訪問介護相当型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-28		通所型サービス（通所介護相当型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-29		通所型サービス（時間短縮型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2	介護保険サービス事業の収支状況（令和7年度見通し）	介護保険サービス事業の令和7年度における収支の見通しはどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください	単一			○	
問3-2-0		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			

【資料4】R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46問)

○ R4から継続して必要
☆ 新規

○ 現状分析
○ 指標・現状分析

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載9期
問3-2-17		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-19		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-20		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-21		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-22		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-23		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-27		訪問型サービス（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-28		通所型サービス（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-29		通所型サービス時間短縮型（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
4 事業所の運営について							
問4-1	事業所運営に関する問題点	現在運営している事業所について、運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	介護従事者（ヘルパーなど）の確保が難しい 専門職（看護師、理学療法士など）の確保が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 経営経費・活動資金が不足している 介護報酬が実態にそぐわない 利用者の継続的な確保が難しい その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問4-2	従事者確保が難しい主な原因	【問4-1で「介護従事者の確保が難しい」の方のみ】 主な原因をどのように考えていますか	複数	仕事に見合わない給与 重労働 不規則勤務がある 職場の人間関係の難しさ その他（具体的に ）		○	
問4-3	介護報酬の設定金額に対する考え	【問4-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 設定されている金額についてどのようにお考えですか	単一	低すぎる やや低い やや高い 高すぎる		○	
問4-4	経営に関する問題を解決する際の相談先	【問4-1で「特に問題はない」以外の方のみ】 運営に関する問題点を解決するために、どのようなところに相談していますか	複数	関連法人・事業所 他の介護保険サービス運営法人・事業所 公の経営相談窓口 民間の経営コンサルタント、公認会計士・中小企業診断士などの専門家 その他（具体的に ） 特に相談はしていない		○	
問4-5-1	人材確保のために現在行っている取組	人材の確保のために、現在どのような取組を行っていますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-5-2	人材確保のために今後取り組んでいきたいもの	人材の確保のために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-6-1	人材の定着化のために現在行っている取組	採用した人材の定着化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行う（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-6-2	人材の定着化のために今後行いたい取組	採用した人材の定着化を図るために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行う（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-7-1	外国人介護人材の採用実績	外国人介護人材の採用実績について教えてください	単一	現在採用している 過去に採用していた これまで採用したことはない	選択肢修正（文言）	○	
問4-7-2	採用した外国人介護人材の状況	【問4-7-1で「採用している（していた）」の方のみ】 概ねここ3年間で採用した人数（うち転職者数）、国籍、従事した介護サービス種類について教えてください。また、在留資格について該当するものを選択し、それぞれの人数を教えてください	記述	採用人数（ ）人 うち転職者数（介護業界からの転職（ ）人 他業界からの転職（ ）人） 国籍（ ） 従事した介護サービスの種類（ ） 在留資格（EPA（経済連携協定）（ ）人） 技能実習（ ）人 在留資格「介護」（ ）人 特定技能（ ）人 その他（具体的に ））※選択した 在留資格のみ人数入力	選択肢修正 転職者数、在留資格の種別人数を追記	○	
問4-7-3	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由を教えてください	単一	採用したいと考えている 検討中 当面はない（理由： ）	設問文修正（文言）	○	
問4-7-4	採用を検討している外国人介護人材の在留資格	【問4-7-3で「当面はない」以外の方のみ】 どのような在留資格の外国人介護人材について採用を検討していますか	複数	EPA（経済連携協定） 技能実習 在留資格「介護」 特定技能 その他（具体的に ）		○	

【資料4】R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46問)

- R4から継続して必要

☆ 新規
- 現状分析

○ 指標・現状分析

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	可否	計画掲載9期
問4-7-5	外国人介護人材の採用・受け入れの不安や負担	外国人介護人材の採用・受け入れにあたり、不安や負担を感じていることはありますか	複数	採用コスト（紹介料、渡航費など） 教育・研修にかかる時間と人員の確保 日本語能力の不足 文化・宗教・生活習慣の違いへの対応 日常生活の支援（住居・被服など） 職場内のコミュニケーション 利用者とのコミュニケーション 離職率の高さ その他（具体的に ） 特に不安や負担を感じていることはない	選択肢修正 文言修正、生活支援、離職率の高さを追記	○	
問4-7-6	外国人介護人材の退職の有無	【問4-7-1で「採用している（していた）」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材はいますか	単一	いる いない	新規	☆	
問4-7-7	外国人介護人材の退職人数	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材の人数を教えてください	記述	(人)	新規	☆	
問4-7-8	外国人介護人材の退職後の進路	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 外国人介護人材の退職後の進路について該当するものを全て選択し、それぞれの人数を教えてください	複数	在留期間満了による帰国(人) 在留期間中の自主帰国(人) 札幌市内介護事業所への転職(人) 道内(札幌市除く)介護事業所への転職(人) 道外介護事業所への転職(人) 介護業界以外への転職(人) 不明(人) ※選択した進路のみ人数入力	新規	☆	
問4-7-9	外国人介護人材の退職の要因	【問4-7-8で「在留期間満了による帰国」以外の方のみ】 「在留期間満了による帰国」以外の外国人介護人材の退職について、その背景と考えられる要因を教えてください ※3つまで選択	複数	給与・待遇への不満 職場の人間関係 業務のサポート体制の不足 日本語・コミュニケーションの難しさ 私的な生活面の困難(生活費や友人など) 地域の生活環境の不便さ(交通・買い物など) 気候や地域特性が合わない 他事業所からの引き抜き その他(具体的に)	新規	☆	
問4-7-10	外国人介護人材の採用に関する要望・意見	外国人介護人材の採用に関して、知りたいこと、望むこと、札幌市に対してのご意見やご要望がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問4-8-1	一般事務以外で受け入れている派遣労働者の有無	貴法人では一般事務以外で派遣労働者を受け入れていますか	単一	いる いない		○	
問4-8-2	受け入れている派遣労働者の職種と人数	【問4-8-1で「受け入れている」の方のみ】 ※該当する派遣労働者の職種を選択し、対応して表示される入力欄にその受入人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員(人) 介護職員(人) 看護職員(人) 介護報酬請求事務(人) その他(人)		○	
問4-8-3	直近1年間の介護事業収入に占める割合	直近1年間の介護事業収入に占める人件費の割合(労働保険、社会保険料を含む)と派遣料金の割合をそれぞれ教えてください	記述	人件費の割合(派遣料金を含まない)(%) 派遣料金の割合(派遣労働者を受け入れていない場合は0)(%)		○	
問4-9-1	一般事務以外の採用における人材紹介会社の利用状況	貴法人・団体での一般事務以外の採用における民間職業紹介事業者(人材紹介)の利用状況について伺います	単一	直近1年間で利用した 過去に利用したことがある 利用したことはない		○	
問4-9-2	人材紹介会社を利用して採用した職員の職種と人数	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 該当する人材紹介会社を利用して採用職員の職種を選択し、対応して表示される入力欄にその採用人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員(人) 介護職員(人) 看護職員(人) 介護報酬請求事務(人) その他(人)		○	
問4-9-3	直近1年間に人材紹介会社に支払ったおおよその手数料	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 直近1年間で貴法人が採用にあたり民間職業紹介事業者に支払ったおおよその手数料を教えてください	記述	(約 万円)		○	
問4-10-1	生産性向上や業務効率化のために現在行っている取組	生産性向上や業務効率化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	介護ロボットの活用(移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの) 介護ロボットの活用(見守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にA I・I C T機器(介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他(具体的に) 特にない		○	○
問4-10-2	生産性向上や業務効率化のために今後行いたい取組	生産性向上や業務効率化を図るために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	介護ロボットの活用(移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの) 介護ロボットの活用(見守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にA I・I C T機器(介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他(具体的に) 特にない		○	○
問4-11	人材確保・定着に向けた行政の取組に対する要望・意見	人材の確保・定着のために行政に取り組んでほしいことがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
5 今後のサービスについて							
問5-1	事業所の増設・参入予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所を増やす予定や、新たなサービスに参入する予定はありますか	単一	ある ない		○	
問5-2	増設・参入予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-1で「ある」の方のみ】 該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその開設予定事業所数と時期、開設予定エリアをそれぞれ入力・選択してください(※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です)	記述			○	
問5-2-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-6		通所介護		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			
問5-2-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期(箇所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)			

【資料4】R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46問)

○ R4から継続して必要
☆ 新規

○ 現状分析
○ 指標・現状分析

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載9期
問5-2-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）	追加		
問5-2-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-21		認知症対応型通所介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-27		訪問型サービス（総合事業）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-28		通所型サービス（総合事業）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-2-29		通所型サービス時間短縮型（総合事業）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-3	総合事業の基準緩和	札幌市が、総合事業において訪問型サービス・通所型サービスの基準緩和を導入とした場合に、現行の基準の中で、緩和を望むのはどの項目ですか					
問5-3-1	総合事業訪問型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者（訪問）の配置基準の緩和 訪問介護員の配置基準の緩和 サービス提供責任者の配置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
問5-3-2	総合事業通所型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者（通所）の配置基準の緩和 生活相談員の配置基準の緩和 看護職員の配置基準の緩和 介護職員の配置基準の緩和 機能訓練指導員の配置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
		施設基準	複数	食堂及び機能訓練室の設置基準の緩和 静養室の設置基準の緩和 相談室の設置基準の緩和 事務室の設置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
問5-4	事業所の削減予定の有無	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所の数を削減する予定はありますか	単一	ある ない		○	
問5-5	事業所を削減する理由	【問5-4で「ある」の方のみ】削減する理由は何ですか	複数	必要な従業員を確保できない 採算が合わない 事業所を譲渡するから 他のサービス種類へ変更するから その他（具体的に ）		○	
問5-6	削減予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-4で「ある」の方のみ】該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその削減予定事業所数と時期、削減予定エリアをそれぞれ入力・選択してください（※ 介護予防・日常生活支援総合事業のみを廃止する場合は「27.」～「29.」を選択してください）	記述			○	
問5-6-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-6-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			
問5-6-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）か所程度（令和 年度頃）			

【資料 4】 R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46間)

○ R4から継続して必要
☆ 新規

○ 現状分析
○ 指標・現状分析

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢										見直し内容	要否	計画掲載9期
問5-6-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-6		通所介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）	追加									
問5-6-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-21		認知症対応型通所介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-27		訪問型サービス（訪問介護相当型）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-28		通所型サービス（通所介護相当型）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
問5-6-29		通所型サービス（時間短縮型）		開設予定事業所数と時期（開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区	か所程度（令和 年度頃）	豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）										
6 自由記載																
問6	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述												○	